

# E1名神高速道路 埋設物損傷の疑いについて



## 工事概要

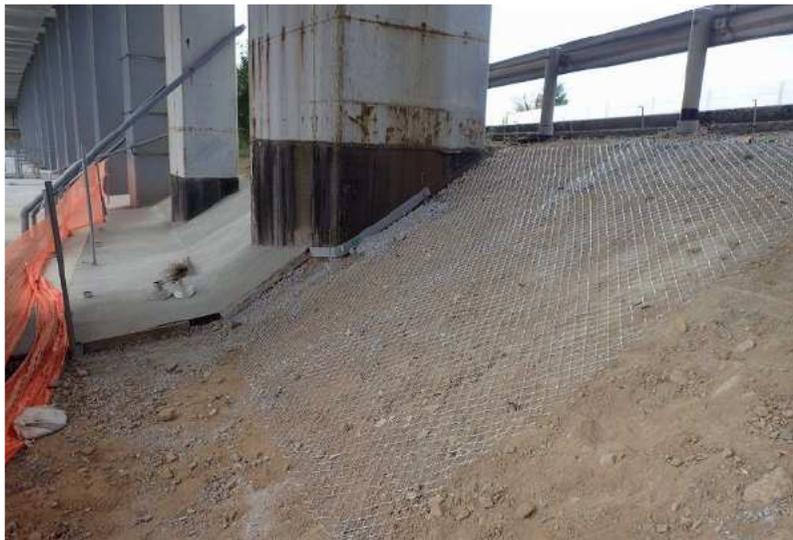
- ・ 工 種 : コンクリートシール工
- ・ 発生日時 : 2020年10月6日13:30
- ・ 発生場所 : E1名神高速道路 彦根IC D-600付近 盛土のり肩
- ・ 損傷物件 : 融雪装置電源ケーブル
- ・ 事象内容 : 10月5日に彦根IC第一電気室で漏電が検知されたもの。
- ・ 現地状況 : 漏電が検知された付近でコンクリートシール工の作業を実施していた。コンクリート打設位置が急勾配であったためラス網を設置し、固定のためのL型ピン(L=200mm)を打設したところ、埋設されていたケーブルを損傷させてしまった可能性があったもの。メンテの試掘及び■■■■の探査の結果、損傷ケーブルがGLより420～670mmの範囲に存在し、L型ピンでの損傷では無いことが判明した。

# E1名神高速道路 埋設物損傷の疑いについて



## 工事概要

- ・ 課題 : ラス網の設置が必要かについてメンテ担当者と施工会社間での打合せができておらず、**施工方法について** ■■■■ **保全への報告相談もできていなかった**。そもそも**本件について近接協議がなされていなかった**。ケーブル損傷との因果関係は判明しなかったものの、近接協議を行わず工事を実施したことに対して10月7日16:30より緊急安全大会を開催する。



# E1名神高速道路 埋設物損傷の疑いについて



## 時系列

10月5日 当該箇所の施工（ラス網設置）

10月5日 アラーム発生をNEXCOが確認。■■■■■■■■■■に翌日（6日）に調査する様指示  
（この時点ではメンテへの連絡はなし）

10月6日

13:30頃 作業中に■■■■■■■■■■の点検員の方が作業現場にて漏電チェックをするとのことで点検を実施された。

14:30頃 ■■■■■■■■■■より現場責任者へ漏電箇所がコンクリートシール工実施箇所付近かもしれないと聴衆した。現場責任者よりメンテ名古屋の現場代理人へ報告し、現場代理人から保全計画課長へ報告した。翌日13時頃に再調査を彦根保全、■■■■■■■■■■、メンテ合同にて行うこととなった。

10月7日

9:00 保全計画課長より、本件作業について詳細を調査し、本日夕方に■■■■■■■■■■保全へ報告するよう指示を受けた。

13:30～15:00 合同調査により、コンクリートシールの施工との因果関係が無かったため漏電の未だ原因は不明である。漏電していて補修が必要なため、ハンドホール間での補修を彦根保全が検討中である。